

## 2019年度 事業報告

〔自 2019年4月1日〕  
〔至 2020年3月31日〕

2020年6月17日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# I. 事業の状況

## 1. 全体概況

### (1) 事業環境

2019年度の鉄骨需要は、東京五輪・パラリンピック関連施設の工事完了、資材調達難等による工事遅延、米中貿易摩擦等国際情勢の不安定による設備投資の鈍化等の影響で、減速感が鮮明になり、暦年の推計鉄骨需要は約472万トン（対前年比8.8%減）と、6年連続した500万トン前後の水準からやや減少した。

更に、年度末には新型コロナウイルス感染拡大問題が発生し、東京五輪・パラリンピックの延期も決定され、予定されている各種建設プロジェクトの延期・見直し等も検討されはじめるなど、当業界を取巻く環境だけでなく日本経済全体の不透明感が増大する中で年度を終えた。

### (2) 事業の実施状況

以上のように楽観を許さない緊張感ある環境の中にあっただが、当協会は精力的に事業を進め、2018年に設立した「鉄骨技術者教育センター」と連携して、鉄骨製作関連主要3資格の管理体制の確立、品質確保の基礎となる「品質管理体制の保持状態」の確認等、重点課題である「品質管理」関連の事業に取り組んだ。

また、「見積条件書式」、「工程管理表」、「新人教育マニュアル」等各種マニュアルの作成・配布を行うなど、構成員の業務改善、人材の育成に資する事業を重点的に推進した。

さらに、2020年度から本格適用となる「働き方改革関連法」に対応し、協会統一目標を設定するほか、事業者として取り組むべき課題について会員・構成員に対して周知を図った。

## 2. 個別事業の実施状況

### (1) 会員共益事業

#### 1) 経営改善関連事業

##### ①業界状況の把握と発信

- ・業界の課題解決に向けて、現状・実態の把握を行なうと共に、必要に応じて適宜行政機関への陳情・要請を実施した。
- ・「働き方改革」に対応し、関係法令遵守のために構成員企業が行うべき労働環境整備等の必要事項及びその内容を整理し周知するとともに、協会の統一目標を設定し、ゼネコン等関係先との協議をしたうえで、対応すべき事項の周知を図った。

##### ②元請下請間の契約取引関係適正化対策の検討、推進

- ・適正価格での受注を促進するため、支部報告書式の統一等、情報の共有化を推進した。
- ・構成員企業業績実態調査を継続実施し、経営状況・契約取引関係について、調査・把握を実施した。

- ・元請ゼネコンとの契約の片務性解消に向け、「業界統一の見積条件書式」を作成し、各県組合事務局経由で構成員に配布した。また、本書式活用促進のための普及活動を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、実施は次年度に持ち越しとなった。
- ・輸送問題等の共通課題について、他団体と連携して解決に向けた取組みを行った。

### ③現下の需要増への的確な対応

- ・2017年度に新設した「高規格材鉄骨製作支援制度」に関し、550N鋼を使用する高層大型物件の需要が東京オリンピック後も旺盛であると予想されること等をふまえ、本制度運用5年経過後も制度を継続することを決定し、本年度も運用を推進した。
- ・深刻な問題になっていた、コラム材、高力ボルト材等の資材調達難に対応し、賛助会員を含む資材供給者との連携を強化し、また適宜行政機関等と協力し、円滑な資材調達に資する取組みを進めた。

### ④将来に向けた需要開拓の推進

- ・(一社)日本鉄鋼連盟等、関係先と連携して「S造化」促進に向けた取組みを推進した。

### ⑤共同積算関連事業の推進

- ・共同積算情報システムについて、より効果的な利用を推進した。

### ⑥政府機関による諸支援制度の周知及び活用支援

- ・「金融支援」「人材育成」等の公的支援制度について、内容の周知と制度の利用促進を図った。

## 2) 教育関連事業

### ①自習用教材の企画作成及び「研修会」の企画検討

- ・時間と場所を選ばず、何度でも繰り返し自習可能な教材の作成を検討し、「決算書の読み方」をテーマとするDVD等で配布できる映像教材の作成に着手した。基礎となる講義の映像を収録し、これに解説用映像を挿入するなど、次年度の完成に向けて加工作業を進めた。
- ・平成29年度まで実施した「経営力向上研修会」に代わる研修会に関し、将来の業界を担う後継経営者の育成に資する、より実践的な研修会について検討をすすめ実施案を取りまとめた。

### ②新人教育マニュアルの作成

- ・鉄骨製作工場の新規入職社員に対する基礎教育を円滑に行うことができるよう、企業が行う指導や育成内容のポイントをまとめた「新人教育用マニュアル」を作成し、希望する構成員に対して各県組合経由で配布した。

### ③将来の業界リーダーの育成

- ・青年部会の活動を支援するため、7月3日に青年部会幹部と全構協三役との懇談会を、9月20日に各県青年部会代表者と全構協理事との意見交換会を開催し、青年部会活動の活性化のための助言等を行うとともに、全構協の事業のあり方、青年部と全構協が連携して事業活動を行うための方策等について意見交換を行った。

### 3) その他の会員共益事業

#### ①広報活動の推進

- ・ホームページの掲載内容の一層の充実に努め、当協会の事業に対する関係者の理解が深まるよう、会員・構成員に対して時宜を得た情報発信を行った。
- ・会報第172号～174号を発行し、当協会の活動について、タイムリーかつ、分かりやすい情報の提供を行った。
- ・鋼構造ジャーナルを、行政機関等広報効果が期待できる関係先に送付し、業界状況の周知と理解化活動に努めた。
- ・記者会の協力を得て、全構協及び各支部の諸活動ならびに鉄骨業界の現状等について周知し、鉄骨業界や当協会についての理解が深まるよう広報活動を推進した。

#### ②安全意識の高揚

- ・安全ポスターを作成し、各県組合と全構成員に配布し、安全意識の浸透を図った。  
(全国安全週間(7月)、年末年始無災害運動(12月～1月))

#### ③倫理意識、コンプライアンス意識の徹底

- ・2019年3月に構成員向けに配布した『全構協 基本理念・行動指針』の遵守に向け啓発活動を実施した。

#### ④賛助会員との交流促進

- ・賛助会員との連携・関係強化を図るため、前年度に引続き9月に「賛助会員との懇談会」を開催した

#### ⑤無線操作式クレーン免許への対応

- ・「無線操作式クレーンの実作業」と「実技試験内容」が乖離している実態をふまえ、問題点と改善策等を整理したうえで関係団体に働きかけを行った。

#### ⑥青年部の活動の支援

- ・青年部各地域の事業活動を支援するため、申請があった全国38都道府県の青年部に対して「助成金」の給付を行った。

## (2) 共済事業

### 1) 生命共済加入率の向上

- ・保有契約高目標370億円に対して、2020年4月責任開始時点の保有契約高は約335億円(目標達成率90%、前年同月比99%)、保険事業収入(制度運営費、配当金)は16,338千円(予算比104%、前年比103%)であった。
- ・2018年度分の配当金実績(加入事業所向け、正会員向け、全構協向け合計)は、93,471千円(前年比120%)で、2019年10月末までに還付を完了した。

### 2) 指定塗料の販売促進

- ・販売目標缶数30万缶に対して、納入実績は281,865缶(目標達成率94%、前年比94%)であった。

### 3) 鋸刃の販売促進

- ・目標売上高150,000千円に対して、売上実績は136,085千円(6,353本、目標達成率91%、前年比90%)、販売協力費収入は1,570千円(予算比112%、前年比99%)であった。

#### 4) オートリースの利用促進

- ・2019年度の目標台数10台に対して、利用実績は新規12台となり、制度スタートからの累計台数は、192台となった。

#### 5) 損害保険（業務災害補償制度）の加入促進

- ・構成員に対して既存の保険加入状況についてアンケート調査を実施し、本制度に対するニーズが相当数あることを確認したうえで、本制度のメリット等 特徴を周知し、生命共済との競合を避ける配慮をしながら募集を開始した。

### (3) 技術開発・普及事業

#### 1) 技術研究関連事業

##### ①鉄骨技術研究開発助成制度の運用

- ・会員各社の研究開発意欲を活性化させ、鉄骨業界の技術力向上と健全な発展を図ることを目的に制定した本制度の趣旨にそって、鉄骨業界にとって有益となり得るテーマを選定し、研究開発費を助成した。
- ・2018年度助成テーマ（1件）の研究成果を全構協ホームページ及び鉄構技術7月号（株鋼構造出版発行）にて公表した。

テーマ	実施者
溶融亜鉛めっき高力ボルトの過大孔 (二面接合部試験体)	協同組合広島県鉄構工業会

- ・2020年度助成テーマの選考を行い、1件が採択された。研究期間は2020年4月より1年間。

テーマ	実施者
溶接部の自主検査における超音波探傷法による溶接部の検査の活用法について（建築鉄骨のT継手とコラム角部の溶接接合部の比較検証）	東京鉄構工業協同組合

##### ②「工程管理表」の作成・配布

- ・CAD担当者の負担軽減策として、工作図が承諾されるまでの進捗状況を一覧表でわかりやすくした「工程管理表」（全構協推奨様式）を作成し、2020年3月、CD版に収録して各県組合に配布した。

##### ③関連団体との共同研究及び委員派遣

- ・関連団体が主催する各種委員会に、各県組合理事及び全構協鉄骨技術アドバイザーなどから適任者を派遣した。
- ・日本建築学会 「JASS6鉄骨工事運営委員会」他
- ・日本溶接協会 「要員認証管理委員会」他
- ・日本非破壊検査協会 「諮問委員会」他
- ・日本鋼構造協会 「建築鉄骨品質管理機構各委員会」

「冷間成形角形鋼管の溶接・加工品質の向上と施工合理化委員会」

- ・鉄骨技術者教育センター 「会員事務局連絡会」
- ・鉄骨製作支援協議会 「鉄骨技術者に対する検討WG」「建築鉄骨技能士（仮称）の検討WG」「ミルシートの表記改善WG」「高力ボルトのサイズ集約WG」

## 2) 技術普及関連事業

### ① NDI-UT（レベル1）資格取得支援講習会の開催

- ・日本非破壊検査協会が認証するNDI-UT（レベル1）資格取得を支援するための講習会を実施した。
- ・受験申請に必要なカリキュラム（履修条件）を満たす「基礎講座」（40時間）
- ・実技試験受験者を対象に行う「実技試験対策講習会」

講習内容	実施期間	開催地（会場；ポリテクセンター）	受講者数
基礎講座 （5日間）	2019年7月	宮城	2
	2019年10月～2020年1月	宮城、群馬、千葉、石川、静岡、愛知、三重、大阪、兵庫、広島、福岡、沖縄	227
実技試験対策講習会（2日間）	2019年5月	宮城、新潟	15
	2019年12月	宮城	6

### ② 技能者育成支援活動への参画

- ・厚生労働省が推進する「中小企業等担い手育成支援事業」を活用し、日本溶接協会及び日本溶接技術センターと連携して、主に非正規雇用者を対象とした溶接技能資格（SA-2F）の取得支援を行った。

訓練施設	訓練期間	受講者数	資格取得者数
日本溶接技術センター	2019年4月～10月	6	6
	2019年9月～2020年3月	6	6
宮崎県工業技術センター	2019年9月～2020年3月	6	6

### ③ 技術関連ホームページの充実

- ・構成員大臣認定取得工場の掲載情報を更新した。

## 3) 支援指導関連事業

### ① 技術・品質サポート制度の推進

- ・鉄骨製作工場の大員認定取得と技術・品質の向上を目的として、当協会の企画に基づき県組合が実施し、287工場の支援を行った。このうち未認定工場が40工場、内37工場が性能評価を申請し、審査延期分1工場を除く35工場が申請グレード適合（1工場が不適合）となった。
- ・「鉄骨製作工場性能評価 工場審査の手引き」に基づき、適宜、県組合のサポート事務をフォローアップした。

- ・「鉄骨製作工場の基準マニュアル集」（工作基準・検査基準・製作要領書作成基準・外注管理基準の各マニュアル）を適宜フォローアップした。

#### ②高規格材鉄骨製作支援制度の運用

- ・高規格鋼材（550N級・385コラム材）適用鉄骨の需要増に対応するため新設した同制度の活用促進のため設計事務所・ゼネコン等にPRした。
- ・今年度5工場が高規格材適格工場となり、制度開始からの累計が8工場となった。
- ・本制度は、当初2022年度までの時限措置であったが、設計事務所・ゼネコン等からの要望に応え時限を解除し、22年度以後も継続して運用して行くこととした。これにともない、高規格材適格工場は5年ごとに更新審査を受けるなどの規程の改正を行った。

#### 4) 品質管理体制の推進

- ・鉄骨製作工場の信頼性維持・向上を目的として、大臣認定工場を保有する全構成員に対して、工場審査時の品質管理体制が維持されていることの確認を行った。なお、2020年度からは、大臣認定取得後3年目の構成員に対してのみ行う。
- ・ゼネコン等発注者が鉄骨製作工場を選定する際に必要となる情報として、工場規模や加工能力などを開示する仕組みの検討を開始した。

#### (4) 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者養成事業

（一社）鉄骨技術者教育センターが認定登録する「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格取得を支援する講習会を鉄骨建設業協会と共同で開催した。

##### 1) 新規（実技試験のための実技講習会；受講は任意）

※（ ）内数字は、2019年度計画（以下同様）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2019年8月～12月	2019年9月～11月
実施地	8会場（札幌、盛岡、金沢、川崎、名古屋、大阪、岡山、福岡）	6会場（盛岡、川崎、金沢、名古屋、大阪、福岡）
受講者数	861 (800) 名	285 (250) 名

##### 2) 更新（実技試験のための更新講習会；受講は任意）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2019年8月～12月	2019年8月～11月
実施地	8会場（札幌、盛岡、川崎、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡）	6会場（盛岡、川崎、名古屋、大阪、岡山、福岡）
受講者数	667 (780) 名	354 (430) 名

## (5) 鉄骨技術者教育センターの事業支援

(一社)鉄骨技術者教育センターが認定登録する「鉄骨製作管理技術者」、「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格取得に必要な試験、講習及び登録業務を事務請負するとともに、同センターが行う教育事業等を支援した。

### 1) 鉄骨製作管理技術者関連業務の事務請負

#### ①試験

- ・資格取得希望者を対象とした学科試験

※（ ）内数字は、2019年度計画（以下同様）

	1 級	2 級
試 験 日	2019年10月26日（土）（追試；12月 5 日（木））	
実 施 地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡）	
受 験 者 数	1,228 (1,120) 名	712 (660) 名
合 格 者 数	742	510
合 格 率	60.4%	71.6%

- ・台風19号及び試験前日の豪雨による欠席者のために追試を行った。

#### ②更新講習

- ・2020年 3 月31日で資格取得後 5 年（更新 1 回目）及び10年（更新 2 回目）経過する者を対象とした更新講習会（1 日講習）

	1 級	2 級
実 施 期 間	2019年 6 月～ 8 月	
実 施 地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡）	
対 象 者 数	更新 1 回目；517名 更新 2 回目；617名	更新 1 回目；305名 更新 2 回目；391名
受 講 者 数	更新 1 回目；425 (410) 名 更新 2 回目；513 (520) 名	更新 1 回目；133 (145) 名 更新 2 回目；223 (235) 名
修 了 者 数	更新 1 回目；421名 更新 2 回目；513名	更新 1 回目；131名 更新 2 回目；222名

- ・資格取得後、1 回目の更新講習は、講義及び修了考査
- ・資格取得後、2 回目の更新講習は、講義及び論文

#### ③更新書類審査

- ・2020年 3 月31日で資格取得後15年（更新 3 回目）以上を経過する者を対象とした更新書類審査

	1 級	2 級
実 施 期 間	2019年 6 月～ 8 月	
対 象 者 数	585名	369名
合 格 者 数	268 (240) 名	112 (120) 名

- ・更新書類審査は、実務経歴書による書類審査を基本とするが、当該年度に開催される更新講習（午前中の講義のみ）を受講することにより更新書類審査を合格とすることができる。

#### ④認定登録

- ・試験及び更新書類審査の合格者並びに更新講習修了者に対する認定登録及び登録証の発行

	1級	2級
新規	742名	502名
更新	934名	353名
更新書類審査	268名	112名
合計	1,944名	967名

- ・2020年4月1日時点の認定登録者総数

	1級	2級
登録者数	18,238名	15,819名
有効者数	12,294名	6,057名

## 2) 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者関連業務の事務請負

### ①新規

- ・資格取得希望者を対象とした学科試験

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
試験日	2019年7月6日（土）	
実施地	8会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、宇多津、福岡）	6会場（仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、福岡）
受験者数	735（780）名	325（300）名
合格者数	642	225
合格率	87.3%	69.2%

- ・学科試験合格者を対象とした実技試験

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2019年8月～12月	2019年9月～11月
実施地	8会場（札幌、盛岡、金沢、川崎、名古屋、大阪、岡山、福岡）	6会場（盛岡、川崎、金沢、名古屋、大阪、福岡）
受験者数	903（840）名	308（260）名
合格者数	586	205
合格率	64.9%	66.6%

②継続

- ・2020年3月31日で資格取得又は更新後、5年経過する者を対象とした継続講習会（2時間講習）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2020年1月～2月	
実施地	9会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、宇多津、福岡）	
対象者数	1,097名	450名
受講者数	943(930)名	412(380)名

- ・東京会場（2月22日開催）では新型コロナウイルス感染症対策として、レポート提出による受講代替え措置を講じ、製品82名、超音波37名が受講修了扱いとなった。

③更新

- ・2020年3月31日で資格取得又は更新後、10年経過する者を対象とした更新試験（実技試験）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2019年8月～12月	2019年8月～11月
実施地	8会場（札幌、盛岡、川崎、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡）	6会場（盛岡、川崎、名古屋、大阪、岡山、福岡）
対象者数	1,082名	559名
受験者数	692(830)名	393(450)名
合格者数	672	372
合格率	97.1%	94.7%

④認定登録

- ・実技試験及び更新試験の合格者並びに継続講習修了者に対する認定登録及び登録証の発行

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新規	586名	205名
継続	949名	412名
更新	681名	381名
合計	2,216名	998名

- ・2020年4月1日時点の認定登録者総数

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
登録者数	18,845名	6,787名
有効者数	9,836名	3,902名

3) 鉄骨製作・検査技術の向上に資する教育事業等

- ・（一社）鉄骨技術者教育センターの会員事務局連絡会への参画
- ・技術者のスキルアップに資する教育活動
- ・技術者の確保とPR活動

(6) 鉄骨製作支援協議会（旧称；鉄骨製作管理技術者登録機構）の事業支援

- ・ 鉄骨製作に関する資格及び技術の向上等を図るために設置された検討WGへの参画  
（「鉄骨製作関連技術資格に関する検討WG」「建築鉄骨技能士（仮称）に関する検討WG」「ミルシート表記改善検討WG」「高力ボルトのサイズ集約検討WG」）
- ・ 女性活躍PR動画「鉄骨Female」の制作に参加（鉄建協、日本溶接協会と共同制作）
- ・ 建築構造用鋼材便覧の頒布及び普及
- ・ 鋼材の識別表示統一化と普及活動

## II. 会員等の状況

### 1. 正会員の状況

別紙「正会員名簿」の通り。(事業年度内の異動はなし)

### 2. 構成員の異動状況

2019.03.31 登録社数	期 中 異 動							2020.03.31 登録社数
	新規登録社数	取 消 社 数 (取消事由別)						
		倒産	転廃業	縮小・閉鎖	休業	その他	計	
2,208	25	0	10	10	0	14	34	2,199

### 3. 賛助会員の状況

別紙「賛助会員名簿」の通り。(事業年度内の異動はなし)

## III. 組織の状況

### 1. 組織・業務実施体制の改編

#### (1) ワーキンググループ (WG) の設置

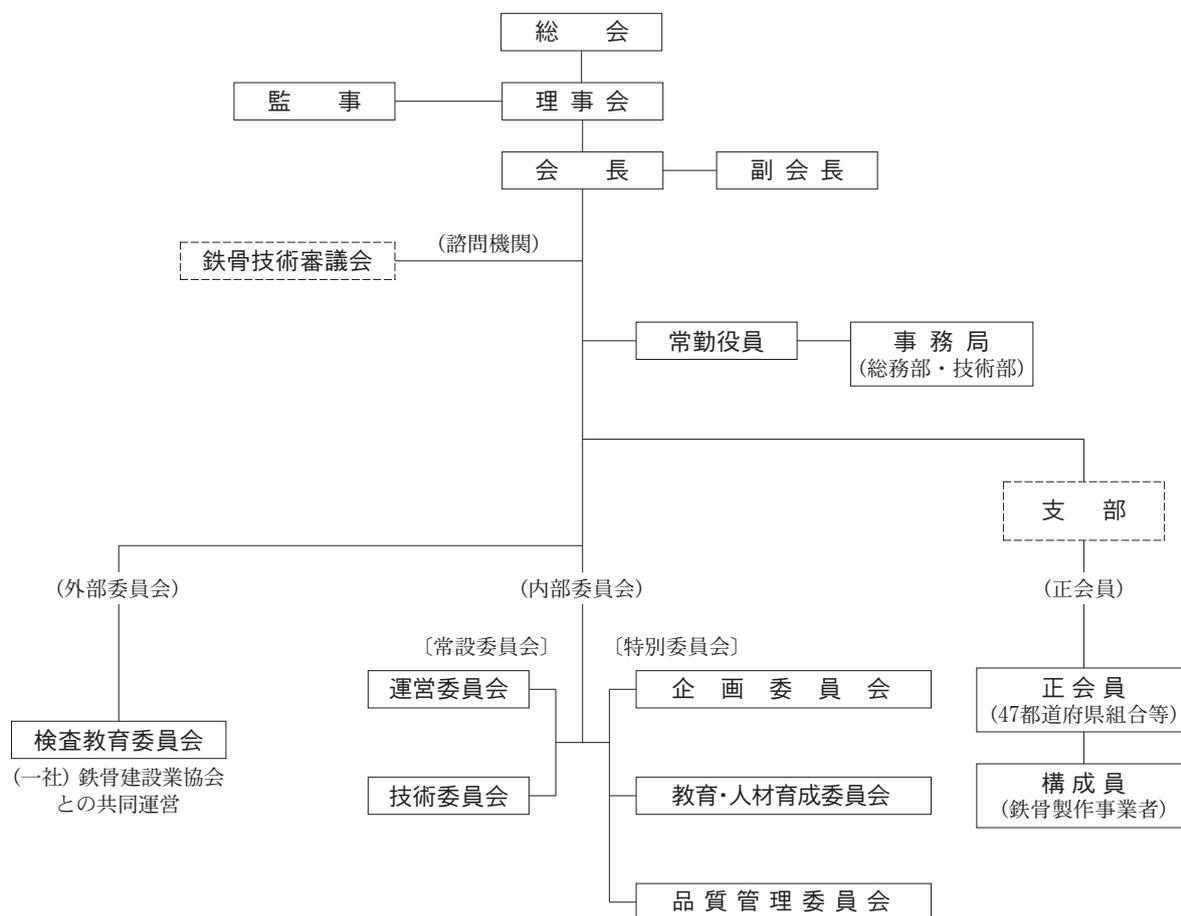
##### ①特定技能外国人受入検討WG

2018年12月に改正された出入国管理法により新たな在留資格「特定技能」が新設されたことにともない、当業界においてもこの在留資格を活用して外国人を受入れることが可能となるよう検討を行うためWGを設置した。

## 2. 協会組織図

### (一社) 全国鐵構工業協会の組織

2020年3月31日現在



## Ⅳ. 役員および職員の状況

### 1. 役員状況 (2020年3月末日時点の役員)

#### 役員名簿

2020年3月末日時点

役職名	氏名	所属団体 役職名	備考
会長 (代表理事)	米森昭夫	元 石川県鉄骨工業協同組合 理事	
副会長	村山功	山形県鉄構工業組合 理事長	
”	永井毅	協同組合熊本県鉄構工業会 理事長	
”	高橋伸和	前 協同組合島根県鐵構工業会 理事長	
専務理事 (業務執行理事)	辰巳功	一般社団法人全国鐵構工業協会	
常務理事 (業務執行理事)	大橋利勝	一般社団法人全国鐵構工業協会	事務局長
理事	中村泰男	一般社団法人北海道機械工業会鉄骨部会 部会長	北海道支部長
”	渡辺勝	福島県鉄構工業組合 理事長	東北支部長
”	大竹良明	群馬県鐵構業協同組合 理事長	関東支部長
”	西村仁	富山県鉄構工業協同組合 理事長	北陸支部長
”	大島嗣雄	愛知県鉄構工業協同組合 理事長	中部支部長
”	伊藤佳治	京都府鉄構工業協同組合 理事長	近畿支部長
”	山本泰徳	協同組合広島県鉄構工業会 理事長	中国支部長
”	井原常裕	徳島県鉄骨構造協同組合 理事長	四国支部長
”	神崎隆一	協同組合大分県鉄構工業会 理事長	九州支部長
”	齊藤眞	一般社団法人全国鐵構工業協会	(一社)鉄骨技術者教育センター に関する事項管掌
監事	村上眞樹	村上公認会計士事務所 所長	
”	野田博文	前 工業組合福岡県鉄構工業会 理事長	

## 2. 職員の状況 (2020年3月末日時点の役員)

### 全構協事務局の組織人事図

(2020年3月末日現在)

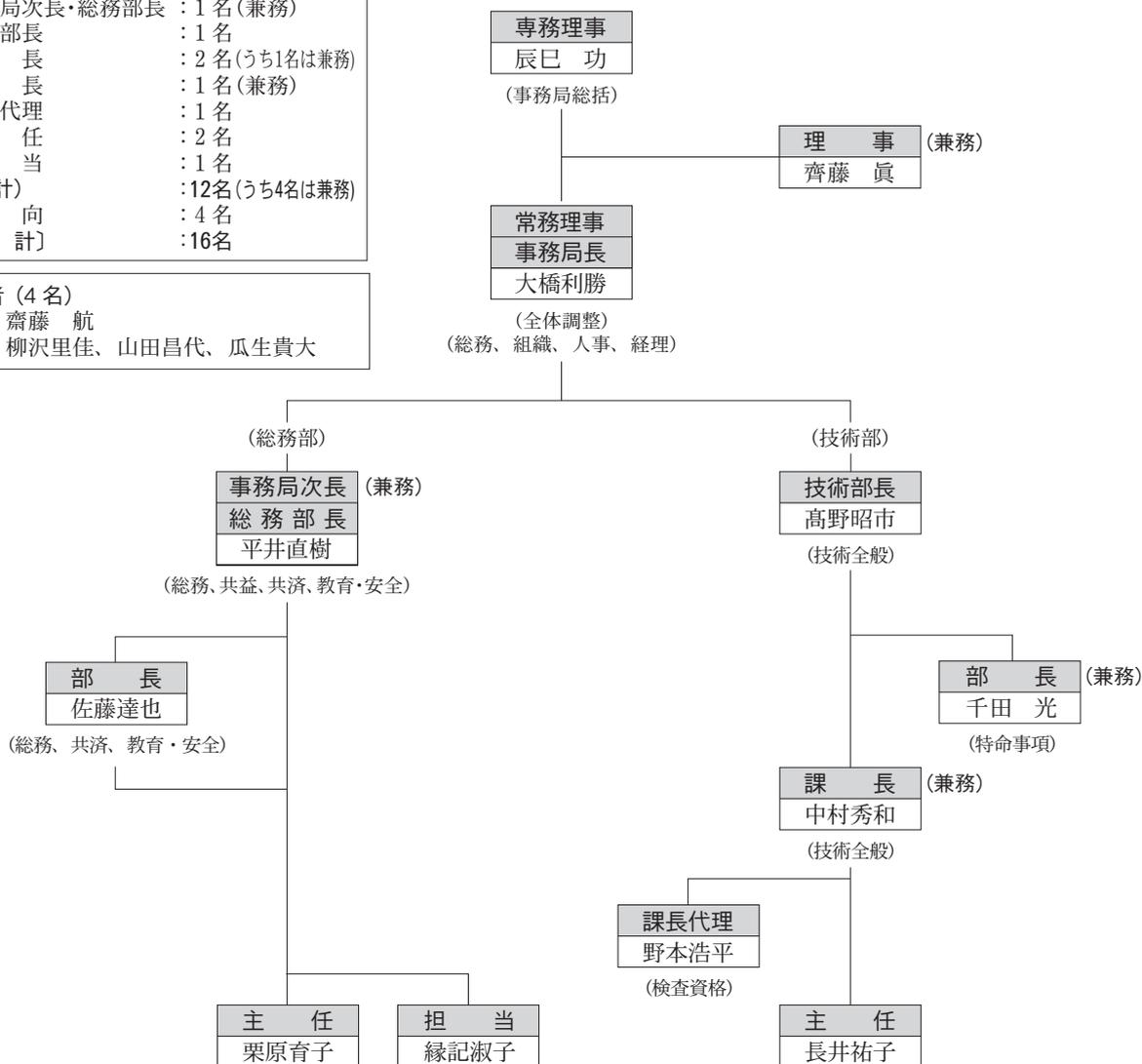
#### 全構協体制

・専務理事	: 1名
・常務理事・事務局長	: 1名
・理事	: 1名(兼務)
・事務局次長・総務部長	: 1名(兼務)
・技術部長	: 1名
・部長	: 2名(うち1名は兼務)
・課長	: 1名(兼務)
・課長代理	: 1名
・主任	: 2名
・担当	: 1名
(計)	: 12名(うち4名は兼務)
・出向	: 4名
[合計]	: 16名

#### 出向者 (4名)

課長: 齋藤 航

担当: 柳沢里佳、山田昌代、瓜生貴大



## V. 会議開催状況

### 1. 総会

開催日及び議題	会議の結果
2019年6月7日〈金〉 1. 2018年度事業報告および決算承認の件 2. 2019年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件 3. 2019(平成31)年度正会員会費額承認の件 4. 役員選任の件	全ての議案について原案通り可決承認された

### 2. 理事会

開催日及び議題	会議の結果
第1回(2019年5月21日〈火〉) 1. 2018年度事業報告及び決算承認の件 2. 2019年度正会員会費額承認の件 3. 第52回通常総会招集及び議案確認の件 ※報告事項 4件	全ての議案について原案通り可決承認された
第2回(2019年6月7日〈金〉) 1. 第52回通常総会議案書確認の件 ※報告事項 2件	議案については原案通り可決承認された
第3回(2019年6月7日〈金〉) 1. 専務理事及び常務理事の選定等について	議案については原案通り可決承認された
第4回(2019年7月11日〈火〉) 1. 建築鉄骨検査技術者任意講習会の受講料改定[案]及び構成員の負担軽減策[案]について ※報告事項 5件	議案については原案通り可決承認された
第5回(2019年9月19日〈木〉) 審議事項なし ※報告事項 7件	
第6回(2019年11月21日〈木〉) 1. 賛助会員の新規入会承認の件 2. 高規格材鉄骨製作支援制度継続の件 3. 働き方改革実施に向けた当協会の統一目標設定の件 ※報告事項 6件	全ての議案について原案通り可決承認された
第7回(2020年1月17日〈金〉) 1. 賛助会員の新規入会承認の件 2. 2020国際ウエルディングショーへの出展の件 ※報告事項 4件	全ての議案について原案通り可決承認された
第8回(2020年2月13日〈木〉) 1. 2020年度鉄骨技術研究開発助成対象案件承認の件 ※報告事項 6件	全ての議案について原案通り可決承認された

開催日及び議題	会議の結果
みなし決議（2020年3月23日〈月〉） <ol style="list-style-type: none"> <li>2020年度 事業計画（案）承認の件</li> <li>2020年度 予算（案）承認の件</li> <li>第2号議案の承認の決議がなされない場合の措置承認の件</li> </ol> ○報告事項 2件	全ての議案について原案通り決議されたものとみなされた

## VI. 委員会等開催状況

### 1. 運営委員会

開催日及び議題
第1回（2019年6月20日〈木〉） <ol style="list-style-type: none"> <li>2019年度 事業計画一覧について</li> <li>「支部状況報告書」書式の見直し・統一について</li> <li>「働き方改革」今後の進め方について</li> <li>「後継経営者・幹部研修会」内容検討について</li> <li>損害保険の進捗状況について</li> </ol> ※その他 報告事項等
第2回（2019年8月27日〈火〉） <ol style="list-style-type: none"> <li>「働き方改革」今後の展開について</li> <li>「後継経営者・幹部研修会」内容検討について</li> <li>損害保険 今後の検討の進め方について</li> <li>企業業績調査の内容について</li> <li>支部共済推進会議開催について</li> </ol> ※その他 報告事項等
第3回（2019年11月6日〈水〉） <ol style="list-style-type: none"> <li>「後継経営者・幹部研修」について</li> <li>損害保険について</li> <li>支部共済推進会議</li> <li>業績調査アンケートについて</li> </ol> ※その他 報告事項等
第4回（2019年12月3日〈火〉） <ol style="list-style-type: none"> <li>後継経営者・幹部研修」について</li> <li>損害保険について</li> </ol> ※その他 報告事項等
第5回（2020年1月28日〈火〉） <ol style="list-style-type: none"> <li>「決算書」講習（教材）実地確認会</li> <li>「決算書」講習（教材：1次版）今後の内容確認方法について</li> <li>3月13日の最終運営委員会の開催（福岡）について</li> </ol> ※その他 報告事項等

## 2. 技術委員会

開催日及び議題
第1回 (2019年10月17日〈木〉) 1. 見積条件書の作成について 2. CAD担当者の業務負担軽減策について ※その他 報告事項等
第2回 (2019年12月2日〈月〉) 1. 見積条件書の作成について 2. 工程管理表の作成について 3. 成果物の周知について ※その他 報告事項等
第3回 (2020年2月21日〈金〉) 1. 見積条件書の作成について 2. 工程管理表の作成について 3. 成果物の周知について ※その他 報告事項等
各ワーキンググループ (WG) の開催回数 ①見積WG 3回 ②図面WG 2回

## 3. 企画委員会

開催日
第1回 (2019年5月22日〈水〉)
第2回 (2019年7月12日〈金〉)
第3回 (2019年9月20日〈金〉)
第4回 (2019年11月22日〈金〉)
第5回 (2019年12月12日〈木〉)
第6回 (2020年2月12日〈水〉)

## 4. 教育・人材育成委員会

開催日
第1回 (2019年5月22日〈水〉)
第2回 (2019年7月12日〈金〉)
第3回 (2019年9月20日〈金〉)
第4回 (2019年11月13日〈水〉)
第5回 (2020年1月18日〈土〉)
第6回 (2020年2月14日〈金〉)

## 5. 品質管理委員会

開催日
第1回 (2019年5月22日〈水〉)
第2回 (2019年7月12日〈金〉)
第3回 (2019年9月20日〈金〉)
第4回 (2019年11月13日〈水〉)
第5回 (2020年1月18日〈土〉)
第6回 (2020年2月14日〈金〉)

## 6. 鉄骨技術研究開発助成案件選考委員会

開催日
第1回 (2020年2月4日〈火〉)

## 7. 高規格鉄骨製作支援委員会

開催日
〔本委員会〕 第1回 (2019年10月28日〈月〉)
〔審査会〕 第1回 (2019年5月27日〈月〉)
第2回 (2019年7月31日〈水〉)

## 8. 無線操作式クレーン免許対応WG

開催日
第1回 (2019年5月14日〈火〉)
第2回 (2019年8月7日〈水〉)
第3回 (2019年12月13日〈金〉)
第4回 (2020年2月12日〈水〉)

## 9. 特定技能外国人受入検討WG

開催日
第1回 (2019年4月18日〈木〉)
第2回 (2019年7月10日〈水〉)

## 10. 鉄骨技術審議会

開催日及び議題
開催日：2019年8月29日（木） 議 題：1. 新役員の紹介 2. 2019年度 技術関連事業の活動報告 3. 特別委員会（企画、教育・人材育成、品質管理）の活動報告 4. （一社）鉄骨技術者教育センターの設立報告

## 11. 建築鉄骨検査技術者教育委員会

委員会名及び開催回数
建築鉄骨製品検査技術者 教育委員会           2回
建築鉄骨超音波検査技術者 教育委員会       2回

以上

## 附属明細書

特に記載すべき重要な事項はありません。